

県立大生 外国人を案内

県委嘱、訪日客見据え練習

鷲羽山や下津井 英語で説明



英語で観光地を案内する県立大の学生（左）ら
＝倉敷市・鷲羽山展望台

若者目線で地元の魅力を発信する「スチューデントアテンダント（学生通訳ガイド）」を県から委嘱された県立大（総社市窪木）の学生13人が2日、県内在住の外国人が観光地を巡るモニターツアーに参加した。インバウンド（訪日客）需要の回復を見据え、ガイドの実践練習に取り組んだ。

（学生通訳ガイド）を県から委嘱された県立大（総社市窪木）の学生13人が2日、県内在住の外国人が観光地を巡るモニターツアーに参加した。インバウンド（訪日客）需要の回復を見据え、ガイドの実践練習に取り組んだ。

（学生通訳ガイド）を県から委嘱された県立大（総社市窪木）の学生13人が2日、県内在住の外国人が観光地を巡るモニターツアーに参加した。インバウンド（訪日客）需要の回復を見据え、ガイドの実践練習に取り組んだ。

（L.T）ら4人を案内し、瀬戸大橋を臨む倉敷市の鷲羽山展望台で、対岸に四国が見えるなっという案内が、同市下津井地区では街並みを見たり、観光施設を訪れたりしながら「ここはタコが有名な地域」などと紹介して、学生は数回の実務研修後、県の誘客事業に参

一行はこの日、同市内で特産・デニムのりし、SNS（交流サイト）で観光地の情報発信も手掛ける。

外国語指導助手（A

保健福祉学部2年松

（吉川瑠美）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。